

岩手大学教養教育規則

平成16年4月1日 制定
令和6年2月29日 最終改正

(趣旨)

第1条 国立大学法人岩手大学学則（以下「学則」という。）第36条第4項の規定に基づき、教養教育及び共通教育に関し必要な事項を定める。

(授業科目の区分)

第2条 教養教育科目は、実践知科目、技法知科目及び学問知科目により構成され、次のとおり区分する。

実践知科目	転換教育科目、地域関連科目（地域課題演習科目）
技法知科目	外国語科目、健康・スポーツ科目、情報科目
学問知科目	文化科目、社会科目、自然&科学技術科目、環境科目、地域関連科目（地域科目）

2 共同獣医学科の共通教育科目（以下「共通教育科目」という。）は、大学教育導入科目群、スポーツ健康科目群、外国語科目群、人文社会科学科目群、理数系基盤科目群及び配置大学特色科目群により構成され、次のとおり区分する。

大学教育導入科目群	基礎ゼミナール
スポーツ健康科目群	スポーツ健康・基礎、スポーツ健康・発展
外国語科目群	基盤英語
人文社会科学科目群	哲学、倫理学、憲法、経済学、社会学、心理学、歴史学、政治学
理数系基盤科目群	生物学、化学、細胞学、情報学
配置大学特色科目群	外国語アドバンス、持続可能な環境・社会、理数系アドバンス

(授業科目及び単位数)

第3条 教養教育科目として開設する授業科目及び単位数は、別表1-1のとおりとする。

2 共通教育科目として開設する授業科目及び単位数は、別表1-2のとおりとする。

(修得すべき単位数)

第4条 教養教育科目に関し、学生が修得すべき単位数は、別表2-1のとおりとする。

2 共通教育科目に関し、学生が修得すべき単位数は、別表2-2のとおりとする。

3 学生は、第1項又は第2項の定めにより授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(単位の計算基準)

第5条 授業科目の単位の計算基準は、学則第38条によるものとする。

(授業時間割等の公示)

第6条 授業科目、時間数及び担当教員名は、各学期の開始までに公示する。

(履修授業科目の届け出)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目名を各学期当初の指定期間内に届け出なければならない。

2 学期の途中から開講する授業科目については、その都度前項の届け出をすることができる。

3 前2項の届け出をしない者は、単位の認定を受けることができない。

4 第1項及び第2項の届け出の後には、履修取り消しを認める指定期間を除き、授業科目を変更することができない。

(試験)

第8条 試験は、各学期末に行う。ただし、授業科目によっては、学期中に随時行うことがある。

(成績の評価)

第9条 履修授業科目の成績は、各授業の担当教員が学習状況、出席状況、学習報告及び試験等に

よって評価する。

- 2 成績は、秀、優、良及び可を合格、不可を不合格とする。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、教養教育に関する事項は、岩手大学教育推進機構会議が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年6月23日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 改正後の別表2中「岩手大学ミュージアム学」及び「岩手大学論」に係る規定は、平成17年度入学者から適用し、「現代社会と著作権」に係る規定は平成12年度入学者から適用する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成18年度入学者から適用し、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、平成19年4月1日以降の入学者から適用し、平成19年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 この規則の編入学者への適用は、当該編入学者が属する年次の学生と同様に取り扱うものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成19年4月1日以降の入学者から適用し、平成19年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表1中「男女共同参画の実践を学ぶ」、「都市の自然再生プランニング」、「高年次課題科目特別講義Ⅰ」、「高年次課題科目特別講義Ⅱ」及び「知財ワークショップ」は平成16年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行し、平成20年度入学者から適用する。
- 2 改正後の別表1中「持続可能なコミュニティーづくり実践学」、「地元の企業に学ぶESD」、「地場産業・企業論」、「北上川流域学実習」及び「津波の実際から防災を考える」は平成17年度入学者から適用する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成21年度入学者から適用し、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表1中「環境都市盛岡づくりプロジェクト」及び「社会のなかの法律問題を考える」は平成16年度入学者から適用する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成22年度入学者から適用し、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表1中「環境マネジメント実践学」は平成19年度入学者から適用する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成23年度入学者から適用し、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表1中「日本の文化・社会と国際ボランティア」は平成19年度入学者から適用する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成24年度入学者から適用し、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正後の別表1中「異文化理解と実践」は平成23年度入学者から適用する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則は、平成27年度入学者から適用し、平成26年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 この規則は、平成28年度入学者から適用し、平成27年度以前の入学者については、この規則改正前の岩手大学全学共通教育規則の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

- 2 この規則は、平成28年度入学者から適用し、平成27年度以前の入学者については、この規則改正前の岩手大学全学共通教育規則の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

- 2 この規則は、平成30年度入学者から適用し、平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、令和2年度入学者から適用し、令和元年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和2年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、令和4年度入学者から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、令和6年度入学者から適用し、令和5年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表 1-1

教養教育科目として開設する授業科目及び単位数

一 実践知科目

区 分		授 業 科 目	単位数
転換教育科目		基礎ゼミナール	1
地域関連科目	地域課題演習科目	地域マネジメント課題演習	2
		地域防災課題演習	2
		地域グローバル課題演習	2
		地域クリエイト課題演習	2

二 技法知科目

区 分		授 業 科 目	単位数
外国語科目	英 語	英語総合Ⅰ（上級）	1
		英語総合Ⅱ（上級）	1
		英語総合Ⅰ（中級）	1
		英語総合Ⅱ（中級）	1
		英語総合Ⅰ（初級）	1
		英語総合Ⅱ（初級）	1
		英語コミュニケーションⅠ（上級）	1
		英語コミュニケーションⅡ（上級）	1
		英語コミュニケーションⅠ（中級）	1
		英語コミュニケーションⅡ（中級）	1
		英語コミュニケーションⅠ（初級）	1
		英語コミュニケーションⅡ（初級）	1
		英語基礎	1
		英語発展A	1
		英語発展B	1
		英語発展C	1
		英語発展D	1
		英語発展E	1
		英語発展F	1
		英語発展G	1
		英語発展H	1
	英語以外の外国語	初級ドイツ語（入門）	1
		初級ドイツ語（発展）	1
		中級ドイツ語	1
		初級フランス語（入門）	1
		初級フランス語（発展）	1
		中級フランス語	1
		初級ロシア語（入門）	1
		初級ロシア語（発展）	1
		中級ロシア語	1
		初級中国語（入門）	1
		初級中国語（発展）	1
中級中国語	1		
初級韓国語（入門）	1		
初級韓国語（発展）	1		
中級韓国語	1		

外国語科目	日本語	上級日本語A	1
		上級日本語B	1
		上級日本語C	1
		上級日本語D	1
		上級日本語E	1
		上級日本語F	1
		上級日本語G	1
		上級日本語H	1
健康・スポーツ科目		健康・スポーツA	1
		健康・スポーツB	1
		健康・スポーツC (シーズン)	1
情報科目		情報基礎	2

三 学問知科目

区 分	授 業 科 目	単位数
文化科目	哲学の世界	2
	倫理学の世界	2
	日本の思想と文化	2
	アジアの思想と文化	2
	欧米の思想と文化	2
	日本の歴史と文化	2
	アジアの歴史と文化	2
	欧米の歴史と文化	2
	ジェンダーの歴史と文化	2
	女性と科学の関係史	2
	大学の歴史と現在	2
	岩手大学ミュージアム学	2
	心の理解	2
	日本の文学	2
	言葉の世界	2
	中国の文学	2
	欧米の文学	2
	欧米の言語論	2
	芸術の世界	2
	日本語表現技術入門	2
	図書館への招待	2
	コミュニケーションの現在	2
	心と表象	2
	日本事情A	2
	日本事情B	2
	英語で学ぶ日本の文化	2
	社会科目	市民生活と法
憲法		2
経済のしくみ		2
現代社会と経済		2
市民と政治		2
現代政治を見る眼		2
社会的人間論		2
現代社会の社会学		2
地域と生活		2
地域と社会		2

社会科目		対人関係の心理学	2
		知的財産入門	2
		知財ワークショップ	2
		キャリアを考える	2
		ボランティアとリーダーシップ	2
		現代の諸問題	2
		公共社会	2
		多文化コミュニケーションA	2
		多文化コミュニケーションB	2
		キャリアデザイン実践	2
自然&科学技術科目		生命のしくみ	2
		自然のしくみ	2
		自然と数理	2
		数理のひろがり	2
		宇宙のしくみ	2
		物質の世界	2
		自然と法則	2
		自然と数理の世界	2
		自然の科学	2
		科学と技術の歴史	2
		暮らしと科学技術	2
		科学技術	2
環境科目		「環境」を考える	2
		生活と環境	2
		都市と環境	2
		地球環境と社会	2
		水と環境	2
		廃棄物と環境	2
		植物栽培と環境テクノロジー	2
		森林と環境	2
		動物と環境	2
		人の暮らしと生物環境	2
		環境の科学	2
地域関連科目	地域科目	現代社会をみる視角	2
		岩手の研究	2
		環境マネジメント実践学	2
		宮沢賢治の世界	2
		危機管理と復興	2
		持続可能なコミュニティーづくり実践学	2
		地元の企業に学ぶESD	2
		地場産業・企業論	2
		三陸の研究	2
		自然災害と社会	2
		東北の歴史	2
		地域を考える	2
		地域と国際社会	2
		海外研修ー世界から地域を考えるー	2
		地域協創入門	2
		社会連携学A	2
		社会連携学B	2

地域関連科目	地域科目	地域協創A	1
		地域協創B	1
		地域協創C	1
		地域協創D	1
		地域協創E	1
		地域協創F	1

別表 1-2
共通教育科目として開設する授業科目及び単位数

一 大学教育導入科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	1

二 スポーツ健康科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
スポーツ健康・基礎	健康・スポーツA	1
スポーツ健康・発展	健康・スポーツB	1

三 外国語科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
基盤英語	英語総合Ⅰ	1
	英語総合Ⅱ	1
	英語コミュニケーションⅠ	1
	英語コミュニケーションⅡ	1
	英語総合Ⅲ	1
	英語コミュニケーションⅢ	1

四 人文社会科学科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
哲学	哲学の世界	2
倫理学	倫理の世界	2
憲法	憲法	2
経済学	経済のしくみ	2
社会学	現代社会の社会学	2
心理学	心の理解	2
歴史学	日本の歴史と文化	2
政治学	市民と政治	2

五 理数系基盤科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
生物学	生物学	2
化学	化学	2
細胞学	獣医細胞生物学	2
情報学	情報基礎	2

六 配置大学特色科目群

区 分	授 業 科 目	単位数
外国語アドバンス	初級ドイツ語 (入門)	1
	初級ドイツ語 (入門)	1
	初級ドイツ語 (発展)	1

外国語アドバンス	初級ドイツ語（発展）	1
	初級フランス語（入門）	1
	初級フランス語（入門）	1
	初級フランス語（発展）	1
	初級フランス語（発展）	1
	初級中国語（入門）	1
	初級中国語（入門）	1
	初級中国語（発展）	1
	初級中国語（発展）	1
	初級韓国語（入門）	1
	初級韓国語（入門）	1
	初級韓国語（発展）	1
	初級韓国語（発展）	1
	持続可能な環境・社会	くらしと科学技術
水と環境		2
動物と環境		2
生活と環境		2
人の暮らしと生物環境		2
欧米の思想と文化		2
市民生活と法		2
理数系アドバンス	総合フィールド科学	2
	総合フィールド科学実習	1
	生命のしくみ	2
	自然のしくみ	2
	物理学入門	2
	線形代数学入門	2
	微分積分学入門	2
	生物統計学	2
	基礎化学実験	1
	基礎生物学実験	1
	データ分析演習	1
	統計的機械学習実践	2

別表 2-1

教養教育科目に関する修得すべき単位数

学部	学科・課程		教 養 教 育 科 目														教養教育科目 修得単位数計	
			実践知科目		技法知科目						学問知科目				実践知科目			
			転換教育科目		外国語科目 注1			健康・ スポーツ科目	情報科 目	技法知 科目修 得単位 数計	文化科 目	社会科 目	自然& 科学技 術科目	環境科 目	地域関連科目			学問知 科目・ 実践知 科目 (地域 関連科 目)修 得単位 数計
			転換教 育科目	転換教 育科目 修得単 位数計	英語	英語以 外の外 国語	日本語 注2								地域科 目	地域課 題演習 科目		
人文社 会科学 部	人間文化課程 地域政策課程	必修	1 (基礎ゼミ ナール)	1	8	{ 英語 8、他 0 英語 4、他 4 英語 0、他 8	2 注3	2	1 2	6	6	4	2	2	2 0	4 3		
		選択							1 0									
		上限			2			1		4	4	4		2	4			
教育学 部	学校教育教員養 成課程	必修	1 (基礎ゼミ ナール)	1	4	4	2 注3	2	1 2	2	4 ※憲法2単 位を含む	2	2	2	1 2	2 7		
		選択							2									
		上限			2			1		2	2	2		2	2			
理工学 部	化学・生命理工 学 物理・材料理工 学 システム創成工 学 学	必修	1 (基礎ゼミ ナール)	1	8	{ 英語 8、他 0 英語 4、他 4	1 (健康・ス ポーツA)	2	1 1	4	4	2	2	2	1 4	3 1		
		選択							5									
		上限			2			1		2	2	2		2	2			
農学部	植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学 科 動物科学科	必修	1 (基礎ゼミ ナール)	1	8	{ 英語 8、他 0 英語 4、他 4	2 注3	2	1 2	6	6	2	2	2	1 8	3 5		
		選択							4									
		上限			2			1		2	2	2	2	2	2			

注1 英語、英語以外の外国語及び日本語の組合せから選択すること。

また、課外科目として「英語基礎 1単位」を認定するが、修得すべき単位数には含まない。

なお、選択科目は英語発展A～Hが対象となる。

注2 外国人留学生に限る。

注3 健康・スポーツAを含む。

注4 各学部で定める選択科目の修得すべき単位数には、「いわて5大学単位互換に関する協定」及び「北東北国立3大学における単位互換に関する協定」に基づき、他大学で取得した教養教育に相当する科目を含めることができる。

注5 課外科目として「コミュニティーサポート実習 1単位」を認定するが、修得すべき単位数には含まない。

別表 2-2

共通教育科目に関する修得すべき単位数

学部	学科		共通教育科目														共通教育科目 修得単位数計			
			大学教育導入 科目群		スポーツ健康科目群			外国語科目群		人文社会科学 科目群		理数系基盤科目群				配置大学特色科目群				
			基礎ゼミナール	大学教育導入科目群修得単位数計	スポーツ健康・基礎	スポーツ健康・発展	スポーツ健康科目群修得単位数計	基盤英語	外国語科目群修得単位数計	哲学、倫理学、憲法、経済学、社会学、心理学、歴史学、政治学注1	人文社会科学科目群修得単位数計	生物学	化学	細胞学	情報学	理数系基盤科目群修得単位数計		外国語アドバンス	持続可能な環境・社会	理数系アドバンス
農学部	共同獣医学科	必修	1		1	1		6		10	10	2	2	2	2	8		17	17	44
		選択		1			2		6	10					8	4	2以上	6以上		

注1 各区分2単位まで修得することができる。

注2 課外科目として「コミュニティーサポート実習 1単位」を認定するが、修得すべき単位数には含めない。